

(ノート)

2012年に伊万里湾佐賀県海域で発生した *Heterocapsa circularisquama* 赤潮

西山嘉乃・河口真弓・吉田幸史・野口浩介・寺田雅彦・明田川貴子・江口泰蔵

A Red Tide of *Heterocapsa circularisquama* in the Saga Imari Bay, 2012

Kano NISHIYAMA, Mayumi KAWAGUCHI, Yukifumi YOSHIDA, Kohsuke NOGUCHI,
Masahiko TERADA, Takako AKETAGAWA and Taizo EGUCHI

渦鞭毛藻 *Heterocapsa circularisquama* による赤潮は、西日本沿岸海域においてしばしば発生している。本種は、二枚貝および巻貝に対して特異的に被害を及ぼすことが知られている¹⁾。佐賀県北部沿岸域における *H. circularisquama* 赤潮の発生状況を表1に示す。本種の赤潮は本海域では伊万里湾でのみ発生しており、2002年と2003年には、養殖アコヤガイへの被害が発生した。このような中、2012年8月から9月にかけて、伊万里湾佐賀県海域において本種の赤潮が発生したため、その経過および被害状況について報告する。

2012年8月30日から9月9日に発生した、伊万里湾佐賀県海域における *H. circularisquama* の推移を図1に示す。8月30日に大浦浜地先において *H. circularisquama* による着色域を確認した。最高細胞密度は大浦浜真珠作業筏における3,150 cells/mL (1 m層)であった。9月1日には、全調査点において確認され、大浦浜真珠養殖筏における586 cells/mL (2 m層)が最高細胞密度で、着色域は確認されなかった。9月3日には阿漕魚類養殖筏、大浦漁港内カキ養殖筏および湯野浦入口において確認されたものの、最高細胞密度は4 cells/mLと減少していた。9月10日には、阿漕魚類養殖筏 (0 m層)、大浦浜魚類養殖筏 (0 m層, 1 m層) および波多津カキ養殖筏 (1 m層) において確認されたものの、最高細胞密度は8 cells/mLと引き続き低位であり、着色域も確認されなかったため、9月9日をもって赤潮の終息とした。

二枚貝類への影響は、7月から8月にかけて *Karenia mikimotoi* 赤潮が発生²⁾していたため、本赤潮によるものかどうか評価が難しいが、天然マガキの資源量減少および成長不良、養殖マガキの成長不良、養殖アコヤガイの生産不調が報告されている。アワビ類、サザエなど巻貝類は、同海域ではほとんど採取されていないため、影響は不明である。

謝 辞

独立行政法人水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所坂本節子主任研究員には本種の同定を行っていただきました。ここに深く感謝申し上げます。

文 献

- 1) 松山幸彦 (2003) : 有害渦鞭毛藻 *Heterocapsa circularisquama* に関する生理生態学的研究-I. *H. circularisquama* 赤潮の発生および分布拡大機構に影響する環境要因等の解明, 水研センター研報, **7**, 24-105.
- 2) 西山嘉乃・河口真弓・吉田幸史・野口浩介・寺田雅彦・明田川貴子・江口泰蔵 (2013) : 2012年夏季に伊万里湾佐賀県海域で発生した *Karenia mikimotoi* 赤潮, 佐玄水振七研報, **6**, 31-62.

表1 佐賀県北部沿岸域における *H.circularisquama* 赤潮の発生および被害状況

年	通報番号*	期間	海域	最高細胞密度 (cells/mL)	その他赤潮 構成種	被害の有無	被害魚種	被害数 (個)	被害額 (千円)
1995**	SA-06	8/2~8/30	伊万里湾	3,080	無	無			
1996	SA-06	9/2~9/20	伊万里湾	5,300	無	無			
1999	SA-12	8/16~9/27	伊万里湾	4,050	無	無			
2000	SA-10	8/18~9/11	伊万里湾	310	無	無			
2002	SA-09	7/26~7/27	伊万里湾	1,840	無	有	養殖アコヤガイ (1~2才)	約5,000 (へい死)	不明
2003	SA-12	9/8~9/29	伊万里湾	18,800	無	有	養殖アコヤガイ (1才)	約135,000 (へい死)	不明
2004	SA-06	8/2~8/6	伊万里湾	3,615	無	無			
2012	SA-17	8/30~9/9	伊万里湾	3,150	無	有	天然・養殖マガキ 養殖アコヤガイ	不明	不明

*九州漁業調整事務所への通報番号, ***Heterocapsa* sp.と報告

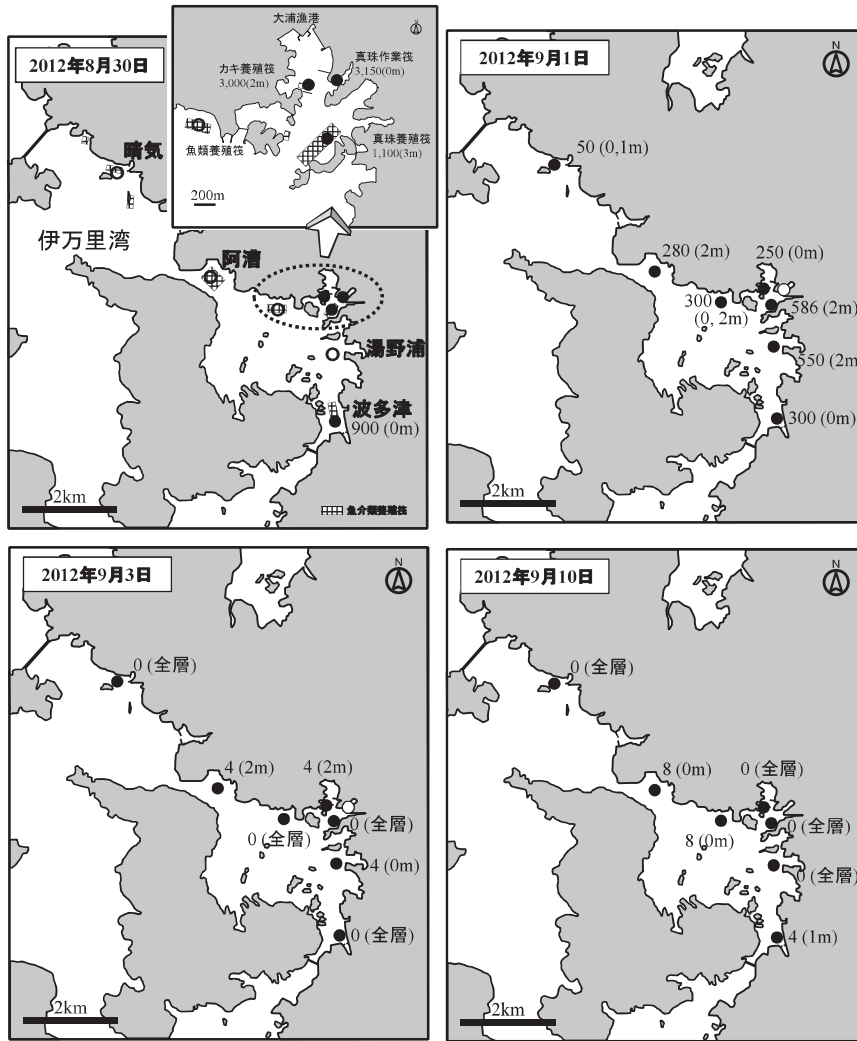


図1 *H. circularisquama* の最高細胞密度 (cells/mL) および最高細胞密度が確認された水深 (m)
調査層は0m, 1m, 2m, 3m, 5m, B-1m。なお, ●は調査点, ○は未調査, 0 (全層) は全層で確認されなかったことを示す。